

講 演

演題：どん底からの金メダル～辛いときこそ笑顔で～

講師：スポーツ・合宿推進課 特別参与 スポーツ振興アドバイザー
阿 部 雅 司 様

北海道小平町出身

スキーノルディック複合の世界的な選手

ワールドカップ：準優勝・3位2回、シーズン個人総合最高4位

世界選手権：団体戦金メダル2回、銅メダル1回

1994年リレハンメルオリンピックの団体戦では、金メダルを獲得、

JOC（日本オリンピック委員会）スポーツ賞最優秀賞を受賞

1995年引退、20年間日本代表のコーチを務めた

2016年4月から名寄市の特別参与に就任「スポーツ振興アドバイザー」

名寄をはじめ道内スポーツの活性化のため、講演会やイベント出演など精力的に活動



自身2度目の出場となったアルベールビルオリンピックでは、ノルディック複合のリーダー格でありながら、団体チームのメンバーから外されてしまう。

皮肉にも阿部さん以外の3名は日本初となる金メダルを獲得したが、その華やかな栄光の陰となった阿部さんは引退を考えていたという。

しかし、現地からの電話で夫人の妊娠が判明し、自分には金メダルの代わりに子供を授けてくれたという思いから、わが子にスキーをしている姿を見せたいと考えて現役を続行。

その後、V字ジャンプ習得に励み、93年の世界選手権団体で金メダルを獲得すると94年のリレハンメルオリンピック団体でも悲願の金メダルを獲得した。

このときの阿部さんはクロスカントリーで力走し、前走者河野さんが詰められた差をもう一度広げ、アンカーの荻原さんにつなげるという素晴らしいものだった。

阿部さんの苦労を間近で見てきた荻原さんと河野さんは、表彰台にて阿部さんを肩車で持ち上げ、「阿部さんと金メダルを取れたのがうれしい」とコメントした。



